

# 箕面市の概要

## 箕面市の地勢

大阪府の北西部に位置し、東は茨木市、西は池田市及び兵庫県川西市、南は吹田市及び豊中市に、北は豊能町に隣接しています。

市域は、東西 7.1Km、南北11.7km、面積47.84km<sup>2</sup>となり、北部は市域のほぼ3分の2を占める北摂山系箕面連山からなり、明治の森国定公園を擁し、名滝『みのおの滝』とともに東海自然歩道の起点として知られています。

南部には一大流通センターである大阪船場繊維卸商団地があり、中部では平成15年10月に箕面新都心「かやの中央」がオープン、平成16年4月には東部に国際文化公園都市「彩都」がまち開きされ、また、平成19年5月には大阪府下で最長（5.6km）となる箕面グリーンロードトンネルの供用が開始されるなど、21世紀にふさわしい、環境を生かした新しいまちへと発展しています。

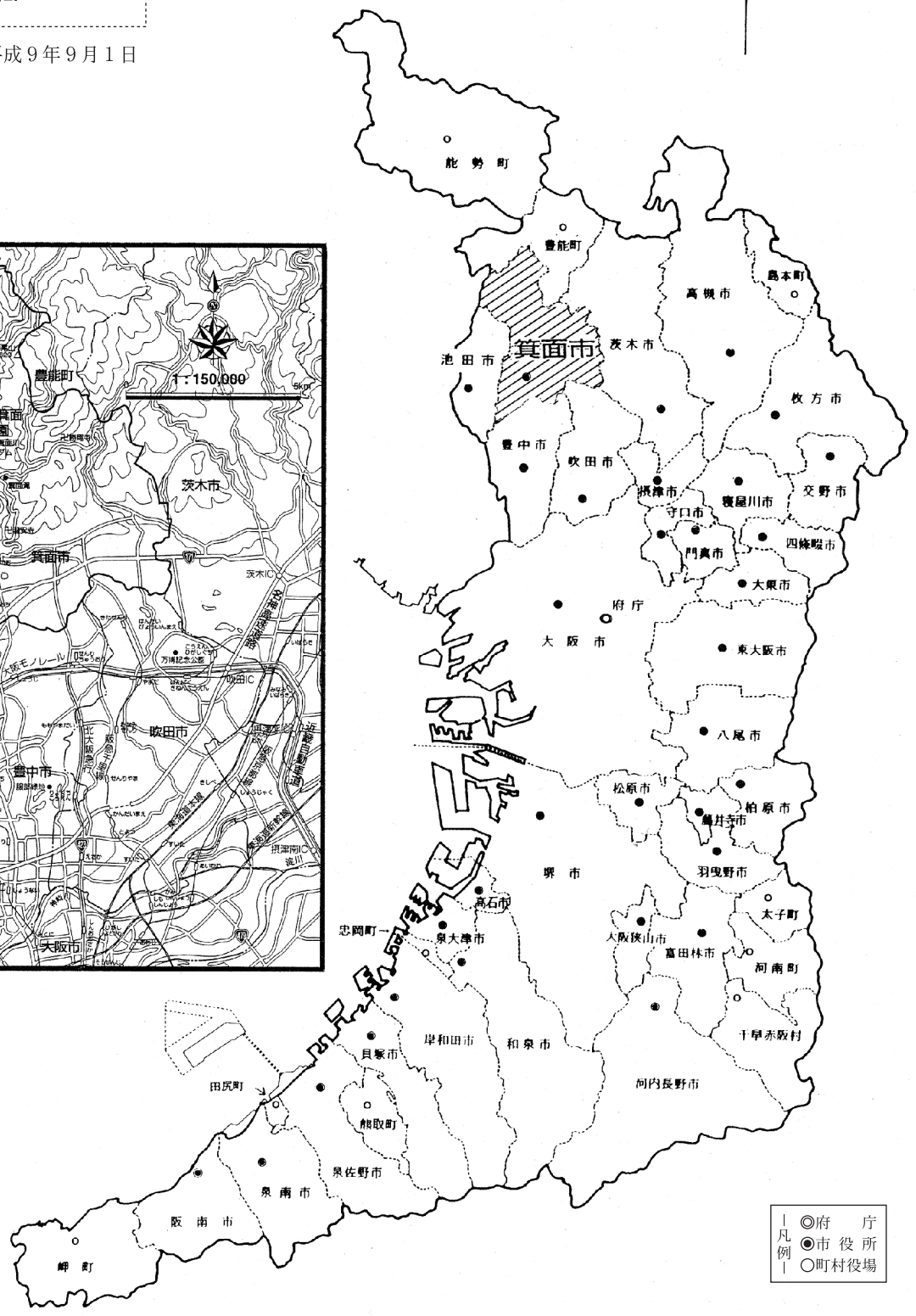
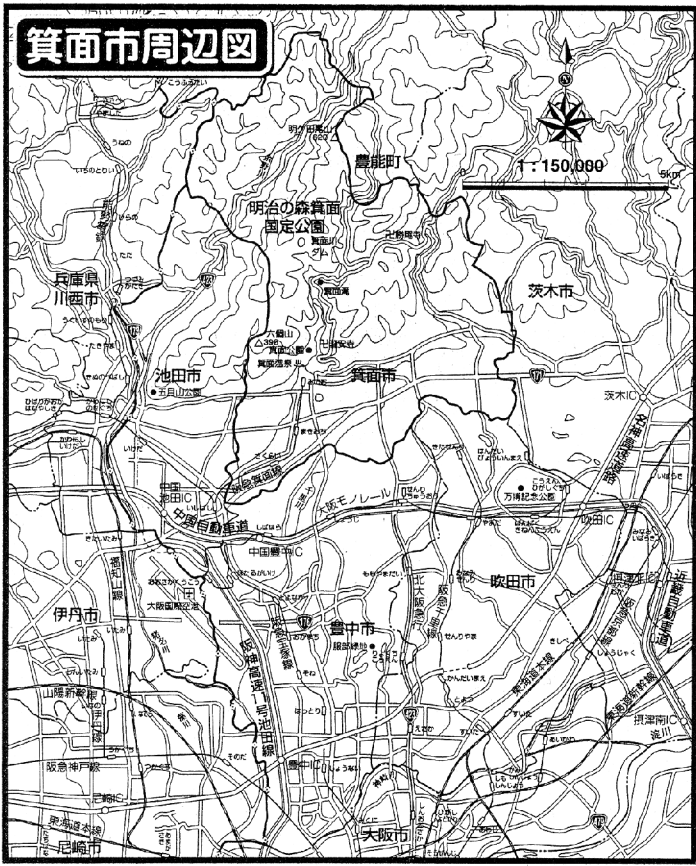
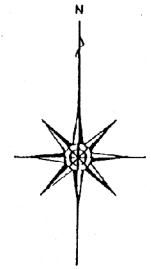
## 箕面市の変遷

本市域の母体は、明治22年4月1日の町村制施行によりつくられた箕面村、萱野村、止々呂美村の3村で、昭和23年1月1日に町村制施行により箕面村が箕面町となり、同年8月1日に萱野村、止々呂美村と合併、昭和31年12月1日には三島郡豊川村と合併して市制を施行しました。その後、昭和32年4月1日茨木市の川合地区を編入し現在のかたちになりました。

中心位置 北緯 34° 49′ 25″  
 東経 135° 28′ 23″

東 西 7.1 km  
 南 北 11.7 km  
 面積 47.84 km<sup>2</sup>  
 海拔 最高 619.8 m  
 最低 46.2 m

・面積については、平成9年9月1日からの公表面積



○ 府 庁  
 ● 市 役 所  
 ○ 町 村 役 場